

<躊躇せず踏み出しましょう> 西日本区理事 戸所岩雄(彦根シャトー)

私たちのワイズメンの運動を、さらに素敵なものとし、次代にあっても社会から必要とされる奉仕団体として存続し続ける為、今の私たちに出来ることを始めましょう。

メンバーの皆様が当事者としての思いを感じ、『風となって』素敵に変化をもたらしましょう。

そして『心豊かな“ひかり”となりましょう』。

そのための応援資金として“JWF資金”を拠出する歴史的な決断をして頂き、スタートした今期の各部での取り組みも徐々に形となりつつあるようです。

九州部、びわこ部、六甲部では、具体的プログラムにより動き始めています。西中国部にあっては『明日の部とワイズをみんなで語ろう会』が、2月1日から2日に合宿し行われる予定です。各部から相談や質問が届いています。

自分たちのワイズのことをメンバーと共に語ることから、各部に合った各部なりの方法で始めましょう。ゴール(期日と効果)を見極めつつ!!

1. 入会おめでとう! (今期これまでの入会者)

7月 (17名)

康原文佳、山口誠誉、小倉了、上山裕継、大村貴則、福本匡宏、俣野正博、遊見志郎(京都グローバル)、間勝也(神戸)、赤峯雄紀(熊本ネクサス)、

長田栄子(大阪茨木)、吉川興志子(金沢)、仁科拓巳、辻本邦子、柴田昌一

(神戸学園都市)、正野隆士(岡山)、梅野勝子(和歌山)、

8月 (12名)

鉄尾幸紀、長水忠雄、千原裕希、櫻井豊晃(北京都フロンティア)、佐藤善紀(京都ZERO)、辻村翔平、植浦基暁(京都トップス)、大原正義(長浜)、

上垣内文子、笹部昌宏(呉)、奥村千秋(京都エイブル)、鬼頭栄子(名古屋)

9月 (4名)

岡山聡、岩本直己(京都ウイング)、檜山秋彦(近江八幡)、西山大介(広島)

10月 (4名)

安藤元二(和歌山)、木下昌平(京都エイブル)、高村景介(宮崎)、国松美也子(京都めいぷる)

11月 (9名)

野々口敬祐(京都ウエスト)、田中伸幸、杉浦美和、安達昌史、池部翔(京都グローバル)、嶋田克樹(京都)、栢本和佳(京都東稜)、武田善博(大阪センテニアル)、新井康典(京都ウイング)

12月 (11名)

熊谷大樹、三谷在謙(京都ZERO)、北門正浩(京都ウエル)、坂本修子(米子)、胡田倫宏(大阪)、相田広継、河原信也、山崎良光、吉田恵治、(京都トップス)、角田憲彦、高橋壮司(京都ウエスト)

<特集>

京都グローバルクラブ、今期の意気込み!

今期7月に8名同時入会のあった京都グローバルクラブの会長に、今期の意気込みや入会の経緯、特別な方策等を語っていただきました。

*前期の取組

○ゲストが例会参加する場合は必ずゲスト紹介フォームをメンバーへ事前配信する。

→例会時ゲストと話をし易くする為

○ゲストが参加する例会は必ず例会後、懇親会を開催。

→例会だけではなくなかなか籍メンバーの良さをアピール出来ない為

○今期に在籍メンバー満足NO.1 = 在籍メンバー数日本NO.1になると発表!!

→確認時点: 日本1位(京都パレス63名)

*日本1位は世界のTOP10

→確認時点: 世界1位は、ノルウェイ・マンダルクラブ121名。日本、世界のNO.1の数をメンバーに伝え頑張れば日本1になれると意識して貰う。

○今期の初例会に8名同時入会をする調整

*今期の取組

○目指せ日本NO.1クラブ・ボールペンの作成=>メンバー全員に配布。

→常にボールペンを利用して貰い、常に日本NO.1を意識して貰う。

○目指せ日本NO.1クラブ・マグカップの作成=>メンバーバースディプレゼントとして配布。

→常にマグカップを利用して貰い、常に日本NO.1を意識して貰う。

○参加ゲストにも”目指せ日本NO.1クラブボールペンのプレゼント

→一緒に日本1目指して楽しみましょう・・・と伝えて
います。

○入会者1名に対して1万円のニコニコをする。

→本気である事の意味伝達。

○毎例会で本気で日本1になると言い続ける。

→なればばいいなあ・・・ではなく。絶対に日本1にな
ると言い続ける。

○ゲスト紹介フォームの事前配信・例会後の懇親会（前
期より継続）→良い習慣の継続。初例会で8名の入会式
をした事によってメンバー全員が”本当に日本1”になれ
るかも？と意識して頂いたように思います。

現在はEMC委員会、三役だけではなくメンバー全員
が増強を意識していて、毎例会数名のゲストが参加して
います。参加頂いたゲストを全メンバーで精一杯のおも
てなしをし、新メンバー獲得へ繋げています。

EMC活動は特定のメンバーがするものではなくクラ
ブ一丸となって進めなければならないと考えます。

そのためには在籍メンバーの満足は必須です。各事業
委員会の更なる充実がメンバーの満足感を高め、より一
層魅力あるクラブへと進化するものと考えます。

そして、メンバー全員が・・・他に自慢したくなるク
ラブ、友達を誘ってみたいくなるクラブ、例会・委員会が
待ち遠しいクラブと思うようになった時自ずとメンバー
が増えてくるのではないのでしょうか。。

現在、我々グローバルメンバーは日本1は通過点と考
えています。我がクラブ30周年には世界1になっている
事をイメージし、今後もEMC活動含めワイズ活動に
尽力して行く所存です。今後共ご指導宜しくお願い申し
上げます。

京都グローバル27期会長 森下克己

2. 各部実働委員会の取り組み

(1) 六甲部 委員長：進藤啓介（神戸）

六甲部ワイズ起こし運動特別委員会では、2つの柱
で新生に取り組んでいます。一つは、YMCA・ワイズ
連携しての地域奉仕事業の改善、もう一つは、新クラブ
設立に向けての取り組みです。

その中で、各クラブが現行で行っている事業を見直
そうということになり、小委員会で検討が行われました。
各クラブが大切に考えて行ってきた事業を評価し
直し、六甲部として今後何を大切にしていくなか検討し
たのです。その中で分かったことは、次の3つのこと
について大切にしているということです。

①音楽による豊かな地域社会づくりチャリティーコン
サート、バレンタインコンサート、手作りの市民クリ
スマス等

②留学生支援、国際協力 留学生交流会、留学生冬支度
支援、国際協力募金等

③困難にある人々を覚え、多様な個性を尊重する活動
希少難病患者支援、障がい者のアート展(キラリと輝
くアート展)、WACCA、WAP 支援等

このようにまとめてみることで、六甲部が今後どの道
に進めばいいのか見えてきたように思います。また、各

クラブの連携にもつながるのではないかと考えます。

新クラブ創設をめざしながら、足元を固めつつ、メン
バー増強に努めたいと思います。

もう一つの光：六甲部は、神戸 YMCA とのつながり
が強いのが特徴です。従って、ユースリーダーOBOG と
のつながりも強いはずですが。現に、ワイズの中には、リ
ーダーOBOG がたくさんいらっしゃいます。

幸い、神戸クラブを中心として、組織の強い「余島キ
ャンプリーダーOBOG」とのつながりから、メンバーが
増えつつあります。この事例を他のリーダー会に広め
たり、地域奉仕事業を通して、地域の方々に認識してもら
ったりすることで、ワイズの輪を広めたい、広められる
と考えています。

5.おわりに 神戸を中心とする六甲部の地域は、昔から風
土的に、新しいものを取り入れることに抵抗のないところ
です。また、交通の便もよく、連携もとりやすいところ
です。そういった風土も六甲部 の力になっていると思
います。

六甲部のもつ「人間力」が、今試される時です。ワイズ
新生に向けて取り組みを強化していきたいと思
います。

(文責：大野 勉)

(2) びわこ部 委員長 松岡 義隆(長浜)

「西日本区新生ワイズ起こし運動」改革基本計画の
提言を受け、次のとおり推進しています

1. 経緯

○2018年6月「びわこ部ワイズ起こし運動実働部隊
リスト」を策定し西日本区「ワイズ将来構想委員
会」へ報告。リーダー・松岡義隆(長浜)、副リーダ
ー：池田政弘(草津)・東康彦(滋賀蒲生野)を選任。

○2019年1月26日に開催された前期「びわこ部E
MCシンポジウム」パネルディスカッション時にお
けるメンバーの様々な意見、ならびに200推進チ
ームの度重なる協議を踏まえ、『びわこ部ワイズ起
こし運動実働概要(案)2つの柱』を策定、2019年4
月27日、前期「第3回びわこ部評議会」で承認。

○2019年6月15日、前期「第4回びわこ部評議会」
で『びわこ部ワイズ起こし運動』具体的活動計
画が、承認され、スローガン・基本構想が設
定。実働部隊副リーダーに、西川 裕介(彦根シ
ャトー)を追認

<スローガン>

『入りたくなるびわこ部・支えたくなる滋賀YMCA』
～2022年度に向けて地域とともに躍動するびわこ部～

<基本構想>

① 2019-2020年度に、びわこ部6クラブが一丸と
なって『新クラブ』を設立

② 滋賀YMCAとのより好ましいパートナーシ
ップ構築の為、又、現在のリーダー及びリーダーOB

&OGとの交流連携を密にすることを目的『YMCA・ワイズびわこ部連絡協議会』設置に向けた準備委員会を発足。

- ③ 地域奉仕・環境問題へのあり方模索に向けた『地元奉仕団体・NPO団体との協力』を目指す。
- ④ びわこ部ワイズ起こし運動実働部隊は、『2022年6月まで継続的な活動』を行い、部・クラブが一丸となって根気よく、勇気を出して、熱気溢れる運動を展開。

2. 具体的取組

今期（2019-2020年度）は基本構想の①ならびに③を具体化し実現するため、次の取組みを展開しました。

(1) 「びわこ部ワイズ起こし運動」普及推進活動

実行部隊のリーダー、副リーダーが中心となって、各クラブの例会に訪問し、具体的活動計画を細部にわたり報告。

部・クラブが一丸となって取組む必要性をアピールし、運動の気運を高めています。

(2) 新クラブ設立に向けた基盤強化の活動

①湖西地域（滋賀県高島市）の市民とワイズメンのミニ集会

2019年10月10日（木）11時～13時、今津ヴォーリズ資料館2Fにて、湖西地域の市民や奉仕団体との交流を促進するため、湖西地域で活動・活躍されている5名の方（NPO法人代表2名・市民プロジェクト代表1名・今津幼稚園理事長代行理事1名・たかしま市民協働交流センター代表1名）、一般市民の方2名。そしてびわこ部ワイズメン15名の、総勢22名でのミニ集会を開催し、それぞれのジャンルで活躍されている皆さんの奉仕活動における貴重な活動内容を聞かせていただき、中身の濃い情報交換をすることができました。

そして、ワイズメンズクラブが、高島市を拠点に活動する思いを伝え、閉会しました。

②第1回ワイズ地域フォーラムの開催

2019年11月30日（土）14時30分～16時30分、奥琵琶湖グランドパークホテルにて開催。湖西地域の市民の皆さまを中心に広く参加を呼びかけ、地域奉仕活動をメインテーマにした、「市民の皆さんとワイズメン」の地域フォーラムを開催しました。
<参加人数>合計55名（内訳：講演・パネラー3名、一般参加者：20名、ワイズメン32名）

<概要>

第1部：地域で活躍されている方々の活動内容報告

○「市民活動を支える・つなぐ」

たかしま市民交流センター 坂下 靖子氏

○「こどもの笑顔があふれる街に・豊かな心を育む街に」

NPO法人絵本による街づくりの会 平松 成美氏

○「子育て・子育てサポート」

NPO法人子育てサポートきらきらクラブ和治 佐代子氏

○「ワイズメンズ・6クラブ活動内容」

滋賀蒲生野クラブ 井之上 温代氏

第2部：パネルディスカッション

～地域奉仕の取組みから情報交換の場を共有～

○ファシリテーター

彦根シャトークラブ 戸所 岩雄氏

○パネラー：坂下 靖子氏、平松 成美氏

和治 佐代子氏・井之上 温代氏



第3部：参加者全員での記念写真撮影



(3) 新クラブ設立概要

2019年11月16日（土）、第3回評議会で承認され、設立準備委員会が発足されました。

○クラブ名 「高島クラブ」（仮称）

チャーターメンバー目標数 15名～20名

○設立記念総会：2020年4月25日（土）

奥琵琶湖マキノグランドパークホテル

○チャーターナイト 2020年5月23日（土）

今津サンブリッジホテル

○拠点<例会場>候補

奥琵琶湖グランドパークホテル、今津サンブリッジホテル、びわこ青少年の家、今津ヴォーリズ資料館

○ホスト：びわこ部（代表ホストクラブ：長浜クラブ）

3. 今後の取組み

基本構想 ②滋賀YMCAとの『びわこ部連絡協議会』設置に向けた準備委員会発足に向け、また基本構想③の取組み基盤を確立するため、次期西川裕介びわこ部長（彦根シャトークラブ）の下、次の取組みを模索していきます。

(1) 「びわこ部連絡協議会」設置準備に向けた取組み。

滋賀YMCAとのパートナーシップを確立するため、意見交換を活発に行い、YMCAリーダー、OB&OGを交えた交流会・報告会の実現を目指す。

（例えば、YMCAリーダー・OB&OGから観た「YMCAとY'sの将来構想を語る会」を創設すると、YMCAリーダーOB&OGが、滋賀YM

CAやびわこ部ワイズメンに望むことをテーマにしたパネルディスカッションを開催するなど)

(2)「各クラブの移動例会」や「ワイズ地域フォーラム」の継続実施。

びわこ部ワイズメンの『良質な交流』、『メンバーのノンドロップ対策』に資するため、今回の高島地域だけでなく、湖北・湖東・湖南地域などでも、移動例会や地域フォーラムを継続的に開催していく。

4. 西日本区への要望

今期だけでなく、びわこ部ワイズ起こし運動は2022年度に向け、取組みを模索し具体化していきたいので、今期びわこ部に援助いただいた「新生ワイズ起こし運動特別資金」は次期以降も継続して援助していただくようお願いいたします

「ワイワイズ起こしは一人ひとりの心と行動から！」

ワイズ将来構想特別委員会委員長 森田 恵三
2016年7月、「これでいいのかワイズメン！ほっとけない！」の思いを源泉として発足したワイズ将来構想特別委員会は、その後「新生ワイズ起こし運動」を提唱し、その啓蒙推進に努めて早2年5カ月を経過しました。しかし、会員増強については初年度こそ新クラブ誕生もあって42人増加したものの、2017年度は入会82人に対し退会が154人で、72人の減少、2018年度は入会126人に対し退会が151人で、25人の減少という余りにも多い退会のため、2019年度期首現在でも減少傾向に歯止めが掛かからない残念な状況でした。

会員増強は言うまでもなく、平素のワイズ活動の中で絶え間なく果たさねばならない会員一人ひとりに課された永遠の義務であり、生命を有限とする個々の会員を増加させてこそ、クラブに無限ともいえる生命を与えることができるのです。

マイナス減少の続くワイズの衰退傾向を何としても回復させねばワイズの将来はありません。今こそ改めて会員一人ひとりが、真剣にこの問題に向き合い自覚し勇気をもって「新生ワイズ起こし運動」に熱気を発揮しようではありませんか。

あなたがクラブに誘い入れた会員には、例会をはじめあらゆる行事に参加していただけるように心配りをして、彼がクラブに馴染み、ワイズの醍醐味を知り得て、活力ある会員へと成長していく様子を見て、あなたは何ものにも代えがたい感動を覚えることでしょう。それがまた、他に尽くしえた自分自身への報謝として大きな喜びとなるに違いありません。

一方、クラブの会員の中に欠席がちで、何となく迷っているような会員の気配を察したときなどには、いち早く温かい声掛けを試み、彼が退会に及ば

ぬよう導くことに努めてあげてほしいと願います。

入会より退会が多いがために今のワイズの弱体化を招いています。入会を勧めるに躊躇するのも、また退会者が出るのもクラブの現況に満足感が得られていないことに大きな原因があることもアンケート調査などで十分に把握されています。

会員増強は質量相俟った増強であらねばなりません。ワイズ本来の規律ある寛厳よろしき運営に欠けているクラブを改善していかねばならないのではないかと思います。部やクラブを魅力あるものに改善する方策をとるにあたって、究極は会員一人ひとりの義務と捉えねばなりません。そして、ワイズ起こし運動を盛り上げるのは一人ひとりの心と行動に懸かっていることを強く意識してほしいと思います。

坂村真民先生の詩にこんな詩があります。

「本気になる と 自分が変わってくる
世界が変わってくる 変わっていなかったら
本気になっていない証拠だ

本気な恋 本気な仕事

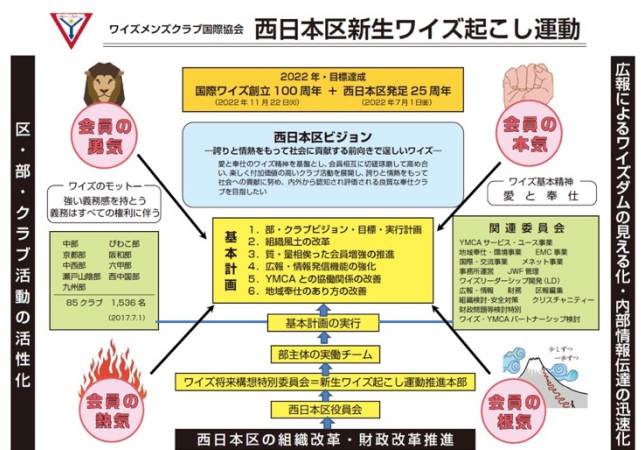
ああ一生一度 こいつをつかまんことには」

この詩の世界はワイズの世界です。ワイズに本気な恋心をもって活動してください。

「世界」「恋」「仕事」を「ワイズ」に置き換えた詩を大きな声で朗読してください。

きっとあなたを本気にさせ、元気と勇気と熱気を与えてくれることでしょう。

石川 洋先生の言葉「念ずれば花開く」ことを信じて……



編集後記

12月1日(日)和歌山クラブ70周年記念祝会に出席してきました。IBC、DBCのメンバーが多く参加しておられました。和歌山クラブメンバーの中でも現会長、次期会長等、若いメンバーが活躍していました。未来を期待しています。



各部、各クラブにおける「新生ワイズ起こし運動」が着実に進んでいることを確信しております。(大野)

西日本区 20年間のメンバー推移

国際データより

半年報データより

	2000年10月	2001年10月	2002年10月	2003年10月	2004年10月	2005年10月	2006年10月	2007年10月	2008年10月	2009年10月	2010年8月	2011年8月	2012年8月	2013年8月	2014年8月	2015年8月	2016年1月	2016年7月	2017年1月	2017年7月	2018.1	2018.7	2019.01	2019.7
中部	201	188	172	156	148	143	128	131	134	131	127	130	128	126	111	95	99	97	94	93	94	89	92	92
びわこ部	158	190	189	171	160	156	153	153	162	161	159	157	147	139	131	116	121	108	109	103	103	102	101	99
京都部	469	468	444	454	452	459	457	452	459	447	433	473	494	491	492	504	489	481	512	511	515	499	505	496
阪和部	192	199	193	178	173	165	164	162	165	166	150	146	139	131	129	132	136	133	133	130	131	122	119	107
中西部	245	245	221	210	201	193	189	179	185	178	172	166	144	142	139	136	137	137	135	129	127	116	117	114
六甲部	168	165	158	146	146	148	152	156	157	151	142	143	152	145	142	135	135	131	133	129	131	132	137	130
瀬戸山陰部	113	108	108	106	101	107	106	102	91	90	81	86	83	84	76	67	66	64	62	62	60	54	53	49
西中国部	83	84	86	76	75	73	55	56	56	85	72	89	88	92	77	74	74	74	81	80	82	64	73	68
九州部	230	220	250	270	281	270	268	283	291	328	295	288	259	254	280	271	273	269	286	299	299	286	293	284
計	1,859	1,867	1,821	1,767	1,737	1,714	1,672	1,674	1,700	1,737	1,631	1,678	1,634	1,604	1,577	1,530	1,530	1,494	1,545	1,536	1,542	1,464	1,490	1,439
前集計との増減			-46	-54	-30	-23	-42	2	26	37	-106	47	-44	-30	-27	-47	0	-36	51	-9	6	-78	26	-51

グラフタイトル

